



# 千葉市立幕張西小学校

## Respect Others ～みんなが主役～ 一人一人が大事な仲間



加藤 秀和 先生

ここがポイント!

千葉市立幕張西小学校では、バングラデシュ（5年1組）、ペルー（2組）、中国（3組）、パキスタン（4組）、マレーシア（5組）出身の外国人講師を迎え、多文化共生出前講座を実践しました。

本実践は、総合的な学習の時間「Respect Others ～みんなが主役 一人一人が大事な仲間～」において、それぞれが興味をもった国の文化について探究した後の学習として位置付けました。その結果、児童は日本や探究した国との共通点や相違点について明確にし、それぞれの国の魅力を発見することができました。

また、講師の先生に「外国人差別」に関する話をしていただいたことで、道徳科で学習した「差別のない社会の実現に向けて」の学びを更に深めることができ、全ての人々が気持ちよく生活できる社会を築いていこうという気持ちを育むことができました。

## 第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

千葉市立幕張西小学校

5年職員一同

1 単元名 「Respect Others ～みんなが主役 一人一人が大事な仲間～」(国際理解教育)

2 単元について

国際理解教育の目標は、国際化が一層進展している社会において、国際関係や異文化を単に理解するだけではなく、自らが国際社会の一員としてどのように生きていくか等について意識し、主体的に行動し、発信できる力を高めることである(令和3年度 千葉市学校教育の課題「21世紀を拓く」より引用)。本単元では、課題の調査や交流活動等の「探究的な学び」と、習得した知識や新たな気づきを共有し、考えを深める「対話的な学び」を学習過程に効果的に位置づけた。これらの学習活動を通して、外国の文化に興味をもつとともに、自分以外の他者の考えを受け入れ、尊重していこうとする共生の意識を育みたいと考え、本主題を設定した。

3 単元目標

- ・外国人講師との交流や調査学習を通して、国によって異なった歴史や文化があることを知るとともに、世界には多様な価値観があることを理解する。 【知識及び技能】
- ・国際社会の一員としてどのように生きていくかについて自分の考えをもつ。 【思考力・判断力・表現力】
- ・友達と協働的に課題を解決し、考えたことを共有しながら、次の学びに繋げようとする。 【学びに向かう力・人間性等の涵養】

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①国によって異なった歴史や文化、価値観があることを理解している。 ②人種差別で苦しむ人々の思いに気づき、問題解決に向けて真剣に考えることの大切さを理解している。	①課題の解決に向けた計画を立てる段階で、何をするのか、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。 ②収集した情報を比較したり、関連付けたりしながら、共通点や差異点を見つけて、課題解決のために必要かどうか取捨選択をしている。 ③相手や目的に応じてわかりやすく伝わるように、より論理的で効果的な表現をしてまとめている。	①出前講座の講師との交流会において、異なる文化や価値観を尊重するとともに、共通性を見出そうとしている。 ②出前講座や発表会において、講師や聞き手に対し、目的意識を明確にして関わろうとしている。 ③異なる文化の共生を目指して、自他の考えの良さを生かしたりしながら、問題の解決に向けて協力して取り組んでいる。

5 指導計画（全24時間）

時	学習活動と内容	指導や支援の手立て	知	思	態
1	○イタリアの文化を知る。 ・町の雰囲気について知る。 ・イタリアの年中行事について知る。 ・イタリアの代表的な食べ物を知る。	・イタリアの文化を紹介することで、世界の文化を調べることへの興味をもたせる。 ・「イタリア旅行に出かけよう」（自作プレゼン資料）を見せることで、日本との街の雰囲気の違いに気付かせる。 ・パスタにはたくさんの種類があることを理解させるために、複数のパスタを用意する。		①	
2	○調べ学習の準備をする。 ・「世界の文化」について、自分が興味のあるテーマをもつ。 ・学習の流れを理解する。	・学習のゴールを示すことで、学習の見通しをもたせる。 ・課題を見出せない児童には、児童の主体性を尊重しつつ、研究可能なテーマを教師が整理し提示する。		①	
3 4 5	○調査学習をする。 ・多方面から調査する（第一段階）。	・インターネットや図書を閲覧することで、幅広く調べられるようにする。 ・資料収集に苦労している児童にはアドバイスをする。 (第一段階：外国の文化について幅広く調査する。)	①		
6 特別活動	○世界には思い込みや偏見があることを理解する。	・人から見た自分の第一印象を考えるラボラトリメソッド体験活動を行うことで、自分には思い込みがあることに気付けるようにする。	②		
7 道徳	○人種差別に苦しむ人々の思いを理解する。	・人種差別を受けた著名人の気持ちを考えることを通して、差別問題を自分の問題として捉えることができるようにする。	②		
8 9 10 11	○調査学習をする。 ・調べたい国を絞り、テーマを決め、調査する（第二段階）。	・第一段階の調査学習をもとに、調べたい国やテーマを決められるようにする。 ・テーマに応じたグループを作り、協働的に課題解決できるようにする。 ・インターネットのサイト名を紹介したり、関連図書を用意したりする。 (第二段階：自分たちのテーマについて調査する。)	①		
12 本時	○外国人講師と交流しよう。 ・外国の文化について話を聞く。 ・差別に関する話を聞く。 ・質問をして自分のテーマを深める。	・自分たちのテーマを深められるように、外国人講師の話聞く際の視点を意識させる。 ・調査学習でもった疑問を解決できるように、事前に児童の疑問を整理して外国人講師に伝えておき、当日の質問コーナーで答えていただく。 ・次時からの調査学習に深まりが出るように、交流から学んだことやさらに興味をもったことを整理する時間を設ける。			①
13 14 15	○もっと調べる。 ・多方面から調査、研究分析する。（第三段階）	・講師から聞いた情報と自分たちのテーマを異同弁別させることで、今後取り組む課題を明確にし、さらに調べる。 (第三段階：自分たちのテーマについてさらに深める。)			②

16 17 18 19 20 21	○学びを整理する。 ・発表方法を知る。 ・発表資料を作成する。 ・発表原稿を書く。 ・練習をする。	・手本を示すことで、作り方を理解させる。 ・グループで協働させることで、活動がスムーズに行えるようにする。 ・情報の取捨選択の仕方を示すことで、必要な情報をまとめられるようにする。	② ③	
22 23	○学びを伝える。 ・友達に向けて発表をする。 ・クラスの友達に発表する。	・発表を聞いて気付いたこと（新しい発見や気付き）について交流することで、相互の学びを深める。 ・発表の仕方についての意見を出し合うことで、よりよく発表ができるようにする。	③	
24	○学習を振り返り、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする。 ・学びを振り返る。 ・小課題についての自分の考えを整理する。 ・考えたことを友達と交流する。 ・学習の感想を書く。	・これまでの活動を想起できるように、画像や映像で振り返らせる。 ・単元のめあてに対して振り返り、自分の変容に気付かせる。 ・友達と考えを交流することで、いろいろな感じ方考え方があることに気付かせ、学びの幅を広げる。 ・交流を通して感じたことを自分の学びとできるように言語化する。		③

## 6 本時の目標と展開

### (1) 本時の目標

パキスタンと日本の相違点や共通点を明らかにし、それぞれの国の良いところに気付くことができる。

### (2) 本時の展開 (12/24)

学習活動と内容	指導や支援の手立て ◇評価 (評価方法)
1 パキスタンの言葉で挨拶をする。 ・アッサラームアライクム (こんにちは)	○あいさつの言葉を掲示することで、児童が抵抗なく挨拶できるようにする。
2 本時の学習の見通しと学習のめあてをもつ。  パキスタンと日本の似ているところと違うところを見付け、それぞれの国のよさを考えよう。	○6月からの活動を掲示物で振り返り、本時は何を学ぶのかを明確にする。
3 外国人講師からパキスタンの話を聞く。 ・国旗にこめられた意味 ・学校生活 ・服装、ファッション ・食文化 ・ムスリムの習慣 等	○相違点や共通点に気を付けて聞けるように、聞く視点を確認してから、活動に入る。 ○外国人講師の作成したプレゼンテーション資料をテレビに投影することで、パキスタンの文化を視覚的に理解できるようにする。 ○内容が難しい部分については、適宜解説をし、児童の理解を促す。 ○文化の理解が深まるように、民族衣装に着替えたり、伝統工芸品に触れたりする体験活動を設定する。
4 外国人講師から日本において感じた相違点や共通点について話を聞く。 ・日本で苦労したこと ・日本でうれしかったこと ・日本に来て驚いたこと	○外国人講師が日本においての苦労した体験や、不思議に感じた体験を聞くことで、日本の文化が必ず世界共通ではないことに気付かせる。 ○優しくされた話を聞くことで、困っている外国人に思いやりの心をもつことの大切さに気付かせ

<ul style="list-style-type: none"> <li>・差別や偏見を感じたこと 等</li> </ul> <p>5 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3人程度のグループで学びを共有する。</li> <li>・ 友達の発表を聞く。</li> </ul>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の学習を掲示物で振り返らせながら、差別や偏見の話聞くことで、外国人講師の願いを理解し、自分にできることを考えられるようにする。</li> <li>○わたがしむの観点で書いた振り返りを友達と共有することで、友達の考えから新たな発見をしたり、自分の理解を深めたりする。</li> <li>○めあてに対しての変容を称賛し、成長を振り返らせる。</li> <li>◇①—（主体的に学習に取り組む態度） 出前講座の講師との交流会において、異なる文化や価値観を尊重するとともに、共通性を見出そうとしている。（ワークシート・発言）</li> </ul>
--	---